

足利銀行に聞く

■とき…令和3年8月27日(金)

■ところ…足利銀行本店

取引先の本業支援・経営改善支援に向けて MISの月次試算表提供サービス活用を強化

TKCモニタリング情報サービス(MIS)を通じて金融機関とTKC地域会の実質的な連携が進んでいる。栃木県宇都宮市に本店を置く足利銀行では、TKCモニタリング情報サービス(MIS)の更なる推進のため、行員が会員関与先の取引先に対してMISを案内し、「情報提供に関する同意書」を取得する取り組みを行っている。同行融資統括部田中俊之部長と営業企画部竹内雄一郎部長に、TKC関東信越会栃木支部渡辺正昭支部長がその背景や効果を聞いた。

支店行員がMIS未実践企業に対して「同意書」を用いた利用促進を行う

渡辺(聞き手) 日頃よりお世話になっております。本日は、主に足利銀行さんによるMIS推進について色々お聞きしたいと思いますが、まず昨年から続くコロナ禍での取り組みからお聞かせください。

田中 昨年来のコロナ禍では、とにかく運転資金がショートしないよう、全てのお客さまに状況をヒアリングし、必要などころには新規融資を行い、ご支援してきました。いったんは資金繰りの問題は山を越したように思われたのですが、また感染者が急増しており、お客さまにとっては常にリスクに晒されている状況にあります。その中で、お客さまの業況をいち早く察知し、支援策に着手できる体制を整えています。

渡辺 どのような変化に注視されているのですか。

田中 特に、売上の推移や資金繰り状況、借入金残高などの指標を注視するよう指示しています。その点で、TKCさんのMISの月次試算表提供サービスは、月次試算表だけでなく、資金繰り実績表、得意先別や部門別の売上推移もタイムリーに確認できるので、期中の業況を把握するのに最適です。

渡辺 足利銀行さんは、支店の行員さんがTKC会員関与先と思われる取引先へMISを案内し、「情報提供に関する同意書(以下、同意書)」を取得するという取り組みを行っていただいています。流れをご説明していただけますか。

竹内 次頁資料の①～⑤のとおり、MIS未実践でTKCマークの付いた決算書のお客さまに対して、当行の行員がMISのご案内を行い、MIS利用の意向がある場合は、その旨をTKCおよびお客さまの顧問税理士さんへ通知します。同意書は、お客さまがMIS利用の意向

があることをTKCさんと顧問税理士さんへ情報提供してもよいというものです。**渡辺** お客さまから同意書を取得されようと思われた背景を教えてください。

竹内 当行では、2016年のサービス提供開始時からMISを利用しています。MISの決算書や月次試算表は、企業の実態を把握するうえで信憑性が高いため、MISの普及は顧客サービス向上につながる、と期待しておりました。そこで、栃木SCGサービスセンターと協議を重ね、栃木支部さんからも後押ししていただき、2019年10月からこの同意書を用いた推進活動をスタートさせました。2021年8月現在で、取得した同意書は累計450枚を超えています。支店行員の評価制度に組み入れ、当活動への本気度を示したことも、大きく前進した要因だと考えています。

渡辺 TKC会員としても、関与先に対して足利銀行さんの側からMIS推進



左から、田中俊之部長、渡辺正昭栃木支部長、竹内雄一部長

を後押ししていただけることは大変ありがたいことです。MISの実践件数が増えることだけでなく、月次試算表提供サービスを利用するためにTKC方式の自計化推進につながった事例も増えていると聞いています。

取引先の成長・発展に向けて 組織横断的な「本業支援室」を設置

竹内 引き続きMIS未実践のお客さまには同意書の取得推進を行います。さらに、決算書等提供サービスの利用のみのお客さまについては、月次試算表提供サービスの促進を強化し、全件からの同意書の取得を目指します。

渡辺 たな卸しなどが月次で行えていない関与先もあり、事務所の業務品質を疑われるなどの理由で「月次試算表までは提供したくない」という声を聞く

ことがあります。

竹内 確かに、たな卸しなどを含めて正確な月次決算を組んでいただけことは、とてもありがたいことです。しかし、期中の試算表は速報性を最も重視していただきますので、そういった理由で提供いただけない、というのは残念です。大まかな業績の動向が分かるだけでも助かりますので、ぜひお取り組みをお願いしたいです。

渡辺 月次試算表提供サービスの活用についてお聞かせください。

田中 月次試算表から知りたい情報は、売上や資金残高、借入金残高といった数字の変化です。お客さまの業況を迅速に把握し、本業支援・経営改善支援につなげたいと考えています。月次試算表提供サービスの推進を含めて、これまで以上に皆さまとの連携を深めてお客さまをご支援していきたいと思います。お客さまから当行へ同意書を提出した旨の連絡がありましたら、MIS利用のご支援をよろしくお願ひします。

渡辺 承知しました。支部会員への周知を改めて徹底してまいります。

竹内 当行では、中小企業の存続・成長に欠かせない本業支援・経営改善支援・事業承継支援に力を入れています。その取り組みの一つに事業性評価から抽出された事業課題を適切に対応するべく専門

資料 足利銀行とTKC会員、TKCが連携したMIS推進活動の流れ

- ①TKCマーク付きの紙の決算書を受け取った企業へ、支店行員からMISを案内
- ②企業から支店担当者へ「情報提供に関する同意書」提出
- ③支店から融資統括部へ同意書を報告
- ④融資統括部からTKC栃木SCGサービスセンターへ同意書を共有
- ⑤TKC栃木SCGサービスセンターが、顧問事務所のMIS利用を支援

性の高い人材を組織横断的に配置した「本業支援室」を設置しています。これらの取り組みには、お客さまの一番の相談相手であり、経営の実態を熟知する税理士の皆さまとの連携が必要だと思っております。これからもよろしくお願ひします。

渡辺 このような足利銀行さんの取り組みは、TKC会員にとって非常に心強いものです。本業支援に向けた連携を一層強化し、ともに中小企業の存続・成長を通じた地域経済の発展に貢献したいと思います。

(構成／TKC出版 石原 学)